

## [04] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13834>

---

出版情報：エネルギー史研究ノート．4，1974-12-10．エネルギー史研究会  
バージョン：  
権利関係：

以上これを要約しますと、後退式払の採用とそれに加え充填法、支柱法、切羽運搬、曲片運搬車道の改善並びに人車運転、通気改善等が相寄り相扶けて集中採炭の実が漸く挙り、幾分成績の向上を表わしたものと存じますが、更に一層の努力により一段の好成績を期待したいと計画検討中であります。(以下略)

執筆者紹介 (執筆順)

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 角山 栄  | 和歌山大学教授(経済学部)          |
| 今津 健治 | 神戸大学助教授(教養部)           |
| 秀村 選三 | 九州大学教授(経済学部)           |
| 東定 宣昌 | 九州大学大学院博士課程(経済学研究科)    |
| 安藤 保  | 東海大学助教授(文学部)           |
| 入江 壽紀 | 西日本鉄道本社勤務              |
| 左合藤三郎 | 元『日本労務管理年誌』編纂委員        |
| 米津 三郎 | 九州酸素協会事務局長・北九州市文化財専門委員 |
| 細川 章  | 多久市立図書館司書              |
| 宮崎 太郎 | 元炭礦労働運動家               |
| 三宅 義男 | 後藤クリニック事務長(元三菱鉱業勤務)    |
| 八田千恵子 | 佐賀新聞社勤務                |
| 和田 一夫 | 一橋大学大学院修士課程            |
| 今野 孝  | 九州大学経済学部学生             |